

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を定期的を開催すること、家族以外の方々にも出席していただき、幅広く意見をお聞きするようにし、より充実した討議を行う。	年4回以上開催する 地域からの参加者を増やす 参加者と親密な意見交換を行う	・会議開催の年間計画の作成(5月 8月 11月 1月 3月) ・町内会、団地自治会、民生委員などへの参加、協力の呼びかけを行う ・スタッフが参加者の間に入り、意見を出しやすい様な雰囲気作りに努める	12ヶ月
2	2 3	地域に出て行くことが多く、地域の方々に『グループホームあじさい』を認めて頂きつつある。今後は、双方向のお付き合いを	地域に人にあじさいに来ていただく機会を増やし、事業所内で入居者さんとの交流を行い、地域の方々に更に理解を深めて頂くようにする。	・企画、準備を早めに行い、イベント参加への呼びかけを行う ・グランドゴルフの講習会を開催する(町会長へ依頼) ・近隣の自治会や、町内会とイベントを通じて交流の機会を増やす	12ヶ月
3	No.13	グループホーム内での研修を更に充実させる。	職員には、外部研修に積極的に参加してもらっている。これらをグループホーム内での伝達研修することも含め、計画的に研修を実施し、職員のさらなるレベルアップを図る。	・外部研修に参加した職員が事業所内部で研修内容を報告し、発表する機会を設ける ・全体会議、カンファレンスを利用し研修、勉強会を行う ・スタッフから研修内容への要望や意見を募り、現場で必要性の高い内容をピックアップし研修、勉強会を行う	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。